



# かけこ通信

令和4年度第1号  
令和4年5月13日  
島根県立三刀屋高等学校  
掛合分校 発行

## 令和4年度入学式を行いました

4月11日（月）、掛合分校講堂において、令和4年度入学式を行いました。

暖かい春の爽やかな日差しが差し込む中、今年度の新入生30人と保護者の皆様、教職員参列のもと、晴れやかなムードの中で式が行われました。山崎誠校長からは、新入生に向けて「小さな挑戦、小さな気遣い、大きな志～自立した大人となるために～」との言葉が贈られ、小さな一步一步の積み重ねや他者を気遣うふるまい、何事も志を持って意欲的に取り組むことの大切さが語られました。この言葉が掛合分校全校生徒、教職員の今年度の合い言葉となります。入学式のあとは、玄関前で保護者の皆様、教職員全員を交えて記念撮影を行いました。春のやわらかな風に桜の花びらが舞う中、掛合分校の建つ「佐中の丘」に皆の笑顔があふれる一日となりました。



## 2年生が新入生に地域探究学習の成果を発表しました

4月12日（火）、新入生オリエンテーションの一環として、2年生が昨年度取り組んだ地域探究学習の成果を発表しました。

掛合分校では、1年の「総合的な探究の時間」に、雲南市掛合町内の5地区（多根、松笠、掛合、入間、波多）に分かれて地区ごとの現状と課題を調査し、課題解決策を提案する学習を行っています。この日は、2年生が1年生に向けてその成果を発表し、それぞれの課題認識を共有する活動を行いました。このうち多根地区を担当した2年生は、獣害を防ぐために柿を取り、その余った柿を使った「柿ジャム」の製作を提案したことを発表しました。その他、地元小学生が描いた絵を取り入れたカレンダー作りやその地区をPRする動画・リーフレットの作成など、それぞれが高校生らしい視点で提案したことを発表しました。

1年生の「総合的な探究の時間」のスタートにあたって、2年生のこれまでの取組と成果が1年生に引き継がれることによって、地域探究学習を通じた地域貢献がより一層進むことを期待しています。



## 2年生と教職員の有志が「音訳ボランティア」を行いました

4月21日（木）、2年生と教職員の有志が「音訳ボランティア」を行いました。「音訳ボランティア」とは、視覚に障がいがある方のために、墨字（活字）で書かれている書籍や雑誌、広報誌などを音声にして伝えるボランティアです。この日は、雲南市ボランティアセンター（雲南市社会福祉協議会内）の方に掛合分校に来ていただき、「社協だより『うんなん』第69号」（2022年4月発行）の文面を、



2年生と教職員の有志が交代で読み上げ、その音声を録音する作業を行いました。広報誌は専門用語も多く、またグラフで示した資料などもあるため、それを音声として録音することには時間もかかりましたが、この活動を通して、相手に分かりやすく伝えることの大切さについて考える良いきっかけともなりました。

## 生徒総会を行いました

5月6日（金）、今年度第1回目の生徒総会を行いました。新生徒会長の常松博樹さん（3年）から、今年度前期の役員が紹介され、新体制がスタートしました。常松生徒会長からは「掛合分校がたくさん笑顔であふれる学校となるよう頑張ります。」と力強い挨拶のことばが語られました。また、各委員会の委員長からは図書館利用やバス通学マナー向上に向けた取り組み、新型コロナウイルス感染症対策の徹底など、全校生徒に向けての呼びかけが行われました。今年度も活発な生徒会活動が期待されます。



## 2年生が雲南市プレミアムつや姫「たたら焰米(ほむらまい)」「うやま米」の販売促進プランを提案する探究学習が始まりました



5月9日（月）、2年生が雲南市吉田町の宇山営農組合、雲南市、その他関係諸機関と協働しながら行う探究学習がスタートしました。2年生は今年度1年間かけて、雲南市吉田町民谷宇山地区のお米作りの一部を体験学習し、そこで生産される雲南市プレミアムつや姫「たたら焰米(ほむらまい)」「うやま米」の販売促進プランを提案する学習活動を行います。この日は、同地区の水田を訪れ、およそ10アールの水田に「つや姫」の苗を手植えする作業を行いました。

標高500メートルの水田で育った稲は、昼夜の寒暖差の影響もありよく育ち、「たたら焰米(ほむらまい)」あるいは「うやま米」の名称でブランド米として流通しています。掛合分校では、昨年度から本格的に宇山営農組合、雲南市、その他関係諸機関との協働を始め、今年度は昨年度のノウハウも生かしながら、高校生らしい目線で更なるPR活動を行うことを考えています。

この日は、初めて水田に入り苗の手植えを行う生徒も多く、泥まみれで悪戦苦闘しながらも、予定されていた区域の田植え作業を終えることができました。体験した生徒には、ほどよい疲れの中にも達成感に満ちあふれた笑顔がたくさん見られました。

今後は、お米の生産から販売にいたる様々な専門家をゲストティーチャーとして招きながら、販売促進プランの提案活動を行います。また、秋にはこの日植えた稲の稲刈り体験学習を行い、11月4日・5日に行われる掛合分校文化祭や11月中旬に販売所等で行われる特別販売会において、生産されたブランド米の販売促進活動を行う予定です。

